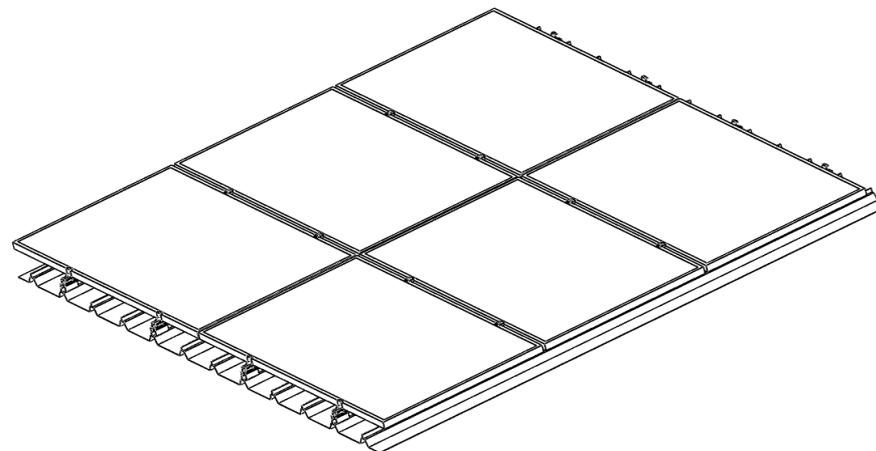
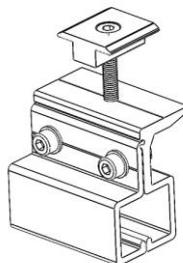


# C-Mode施工要領書

Mounting Systems for Photovoltaics



株式会社 Coile  
開発部

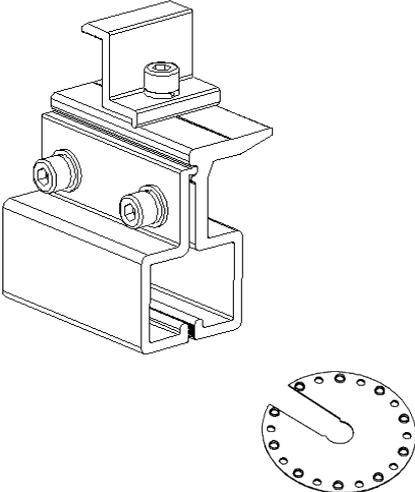
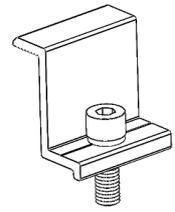
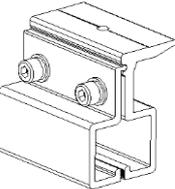


Coile Co., Ltd.



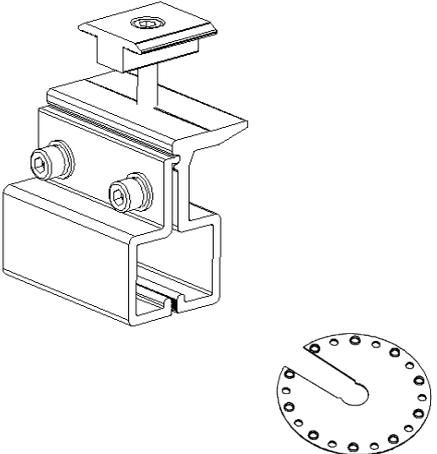
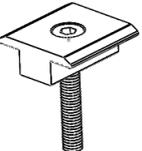
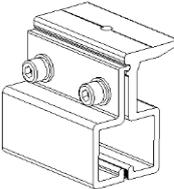
- ・設置作業および使用のための作業を行えるのは、専門的な適性（研修または業務など）または経験を有し、所定の規定事項に従って施工を行える作業員のみに限られています。
- ・設置作業を開始する前に、設置する製品が設置場所の構造に適しているかどうかを確認してください。
- ・国別または地域別の建築基準、規格および環境保護規定に必ず従ってください。
- ・労災防止規定、規格、ならびに保険組合などの規定を必ず遵守してください。特に以下の事項に注意してください。
  - ・安全服（特に保護帽、作業靴、手袋）を着用すること。
  - ・高所での作業時は、高所工事における安全規定に従うこと。  
（例えば墜転落防止器具の使用、軒下 高さが3m超の場合の足場と安全柵/防網などの確保等）
  - ・万一事故が起こったときにすばやく対処できるように、設置作業は必ず2人以上で作業すること。
- ・架台システムには継続的に改良が加えられており、設置手順が変更することもあります。設置作業を開始する前に、必ず最新版の設置説明書であることを弊社の担当まで確認してください。
- ・太陽電池パネル製造元の設置に関する注意事項を参照してください。
- ・アースはシステム設置場所に設けてください。（場合に応じて、避雷クランプを使用）
- ・設置作業中、作業現場に設置説明書を少なくとも一部、参照用に常備してください。
- ・の安全に関する一般注意事項に従わなかった場合や、他社製の構成部品を取付けた場合、弊社PV架台システムは責任を除外する権利を有するものとします。
- ・当社の設置に関する規定事項および組立説明書に従わなかった場合、定められたシステム構成部品をすべて使用しなかった場合、製のものではない部品を取付けた場合、それが原因で生じた欠陥や損害に対し、当社は一切の責任を負いません。その時点で、保証は除外されます。
- ・システムの解体は、設置手順と逆の順序で行って下さい。
- ・ステンレス製構成部品は、さまざまな耐錆等級のものをご用意しております。それぞれの建築物または部品に必要とされる耐錆性能をご確認ください。

## ■ 掴み金具プラス端部クランプ

		品名	寸法	数量	
		①	端部クランプ (H30-H50)	40	1
		六角ボルト	M8*20	1	
		スプリングワッシャー	M8	1	
		②	掴み金具	80	1
		六角ボルト	M8*25	2	
		スプリングワッシャー	M8	2	
		平ワッシャー	M8	2	
		③	アースクリップ	φ44	1

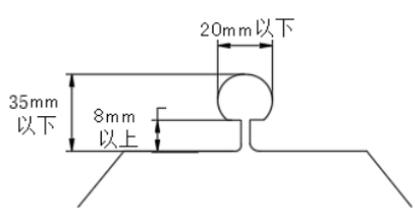
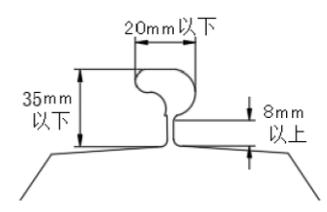
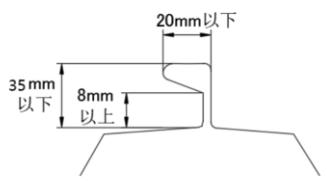
※太陽電池モジュールの厚みによって端部クランプに違いがあります。【30、32、35、40、50】

## ■ 掴み金具プラス中間クランプ

		品名	寸法	数量	
		①	中間クランプ (H30-H50)	40	1
		六角ボルト	M8*L	1	
		スプリングワッシャー	M8	1	
		②	掴み金具	80	1
		六角ボルト	M8*25	2	
		スプリングワッシャー	M8	2	
		平ワッシャー	M8	2	
		③	アースクリップ	φ44	1

※太陽電池モジュールの厚みによって中間クランプに違いがあります。【30、32、35、40、50】

## ■ ハゼ折板固定金具プラス端部固定金具

屋根	ハゼ折板	
材質	鋼板製(JIS A6514規格品の内)※表面処理がされていること。	
勾配	0.5寸以上~5寸以下	
板厚	0.5[mm]以上	
形状	 <p>丸ハゼ折板(両丸)</p>	 <p>丸ハゼ折板(片丸)</p>
	 <p>角ハゼ折板</p>	

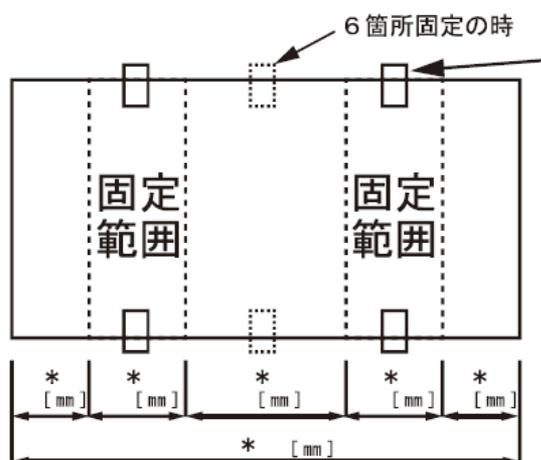
※上記条件の形状でも稀にハゼ付け根の幅が広いなど、取付け出来ない場合があるため、サンプルにて取付け確認を行ってください。  
 ※屋根材、建物の躯体強度については設置に耐えられる強度があるかご確認の上設置を行ってください。

## ■ 掴み金具設置基準

垂直積雪量	100[cm]以下 ※100[cm]未満は雪の平均単位荷重が積雪1cmごとに1mにつき20Nの地域であること。 100 [cm]以上は別途相談。
設計用基準風速	38[m/s]以下の地域
地表面粗度区分	III-IVの地域
設置高さ	アレイ設置高さ30[m]以下
塩害に対して	直接海水が飛散する場所への設置は行わないでください
設置範囲	外周部より10%以上控えた範囲

※禁止事項※設置基準に該当しない屋根への設置は行わないでください。

## 【太陽電池モジュールの固定について】



太陽電池モジュール1枚を必要な金具数で固定してください。

※メーカー指定の固定範囲内で必ず4箇所固定を行ってください。6/8箇所の場合も同様です。

※固定範囲、モジュール間の隙間は「メーカー別資料」を参照ください。

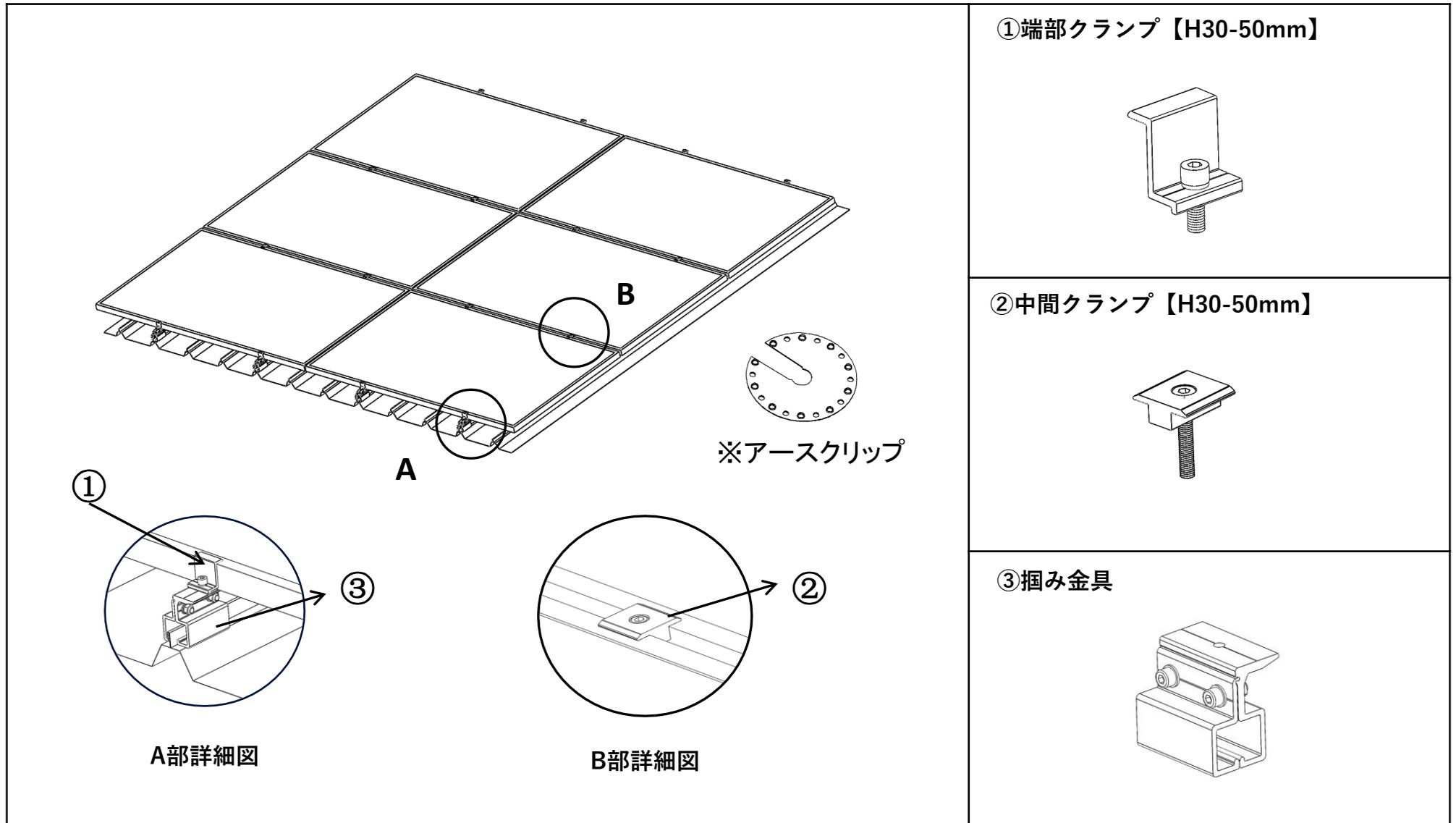
※6/8箇所固定の時、千鳥配置は出来ません。

# 取付ツール



Coile Co., Ltd.

		
<p>六角レンチ (6mm)</p>	<p>インパクトドライバー</p>	<p>巻き尺</p>
		<p>注) 参考トルク： M 8=15-20N・m</p>
<p>水糸・カラスプレー サインペン等</p>		



## 1 取付位置の標記

### (1)マーキング

配置図に従い屋根にモジュール位置と固定範囲のマーキングを行います。

※固定範囲は、別紙「メーカー別資料」をご確認ください。

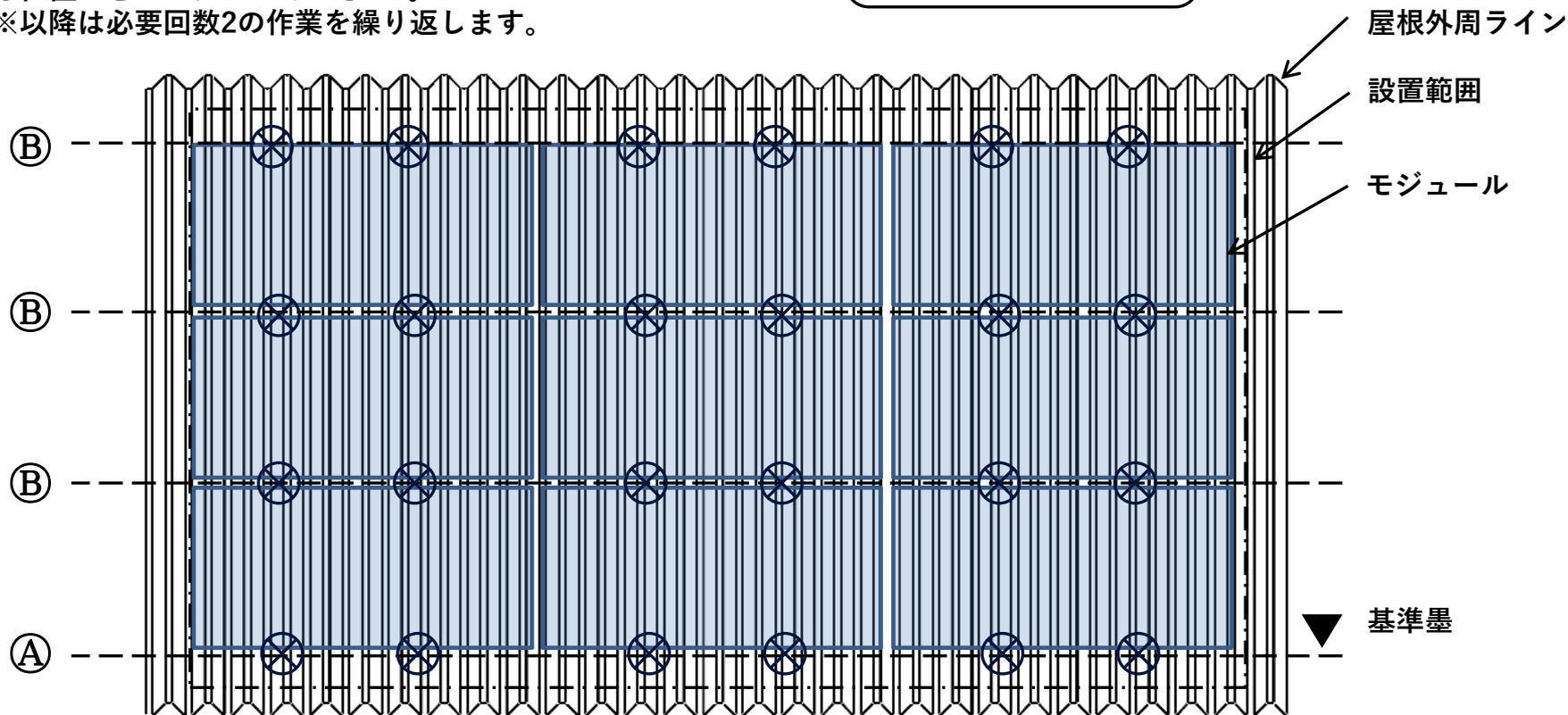
### (2)横墨出し

① 軒側に基準墨 $\text{A}$ を打ちます、基準墨 $\text{A}$ に金具を取り付ける位置 $\otimes$ をマークしてください。

②  $\text{A}$ より $\text{B}$ mm棟側に墨 $\text{B}$ をうちます、墨 $\text{B}$ に金具を取り付ける位置 $\otimes$ をマークしてください。

※以降は必要回数2の作業を繰り返します。

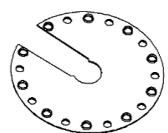
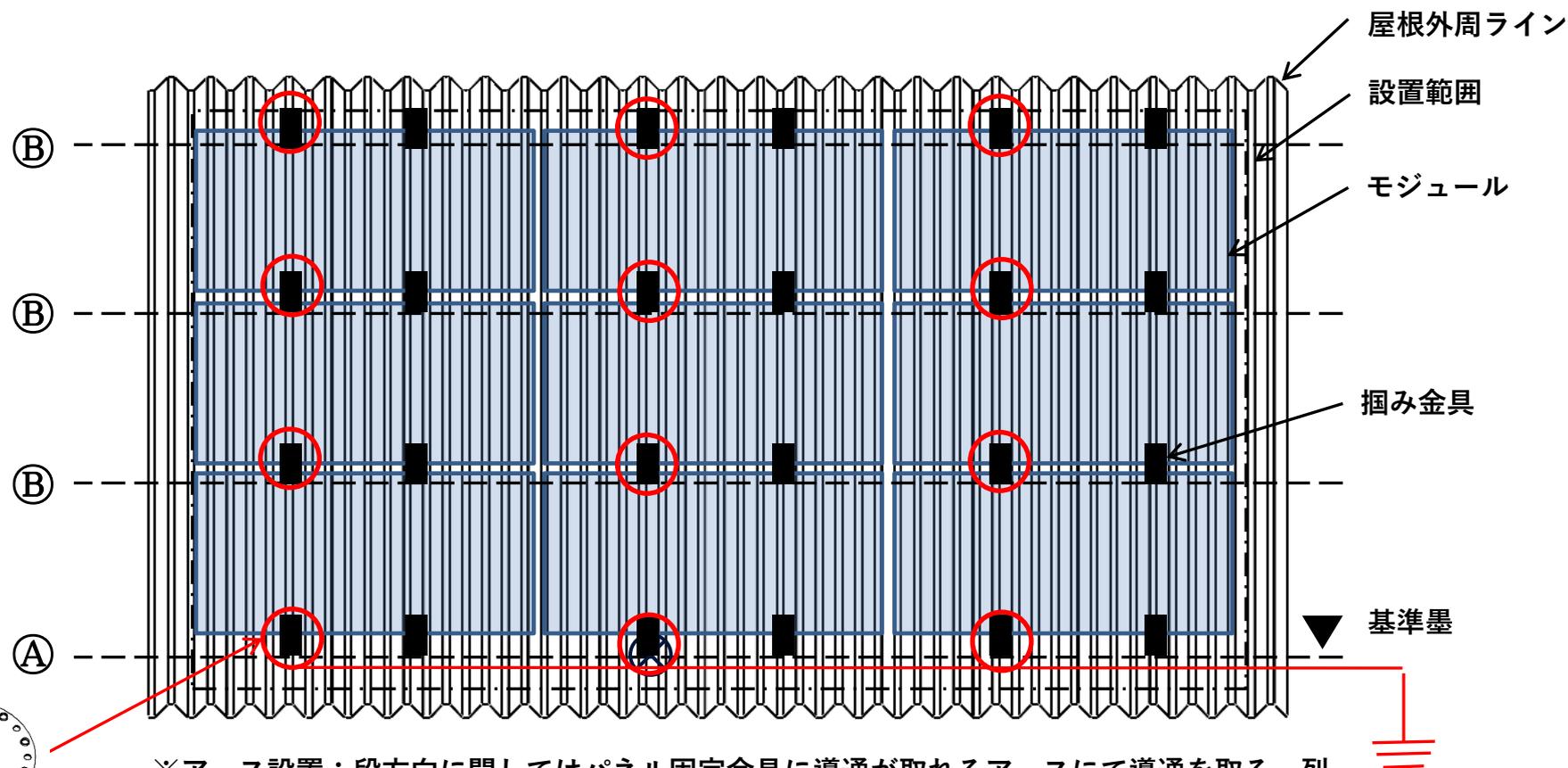
$\text{A}-\text{B}$ 、 $\text{B}-\text{B}$ (モジュール短辺の長さ+17 mm)



## 2 掴み金具の仮置き

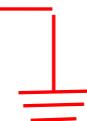
(1) 上記通りに標記した位置に金具を置きます。

「墨出し」で出したマーキング(モジュール固定範囲)と横墨を元にハゼ折板金具の先端を横墨に合わせて仮置きします。



アースクリップ  
を設置する所

※アース設置：段方向に関してはパネル固定金具に導通が取れるアースにて導通を取る。列方向に関しては、アース線にて導通を取っていただいている。

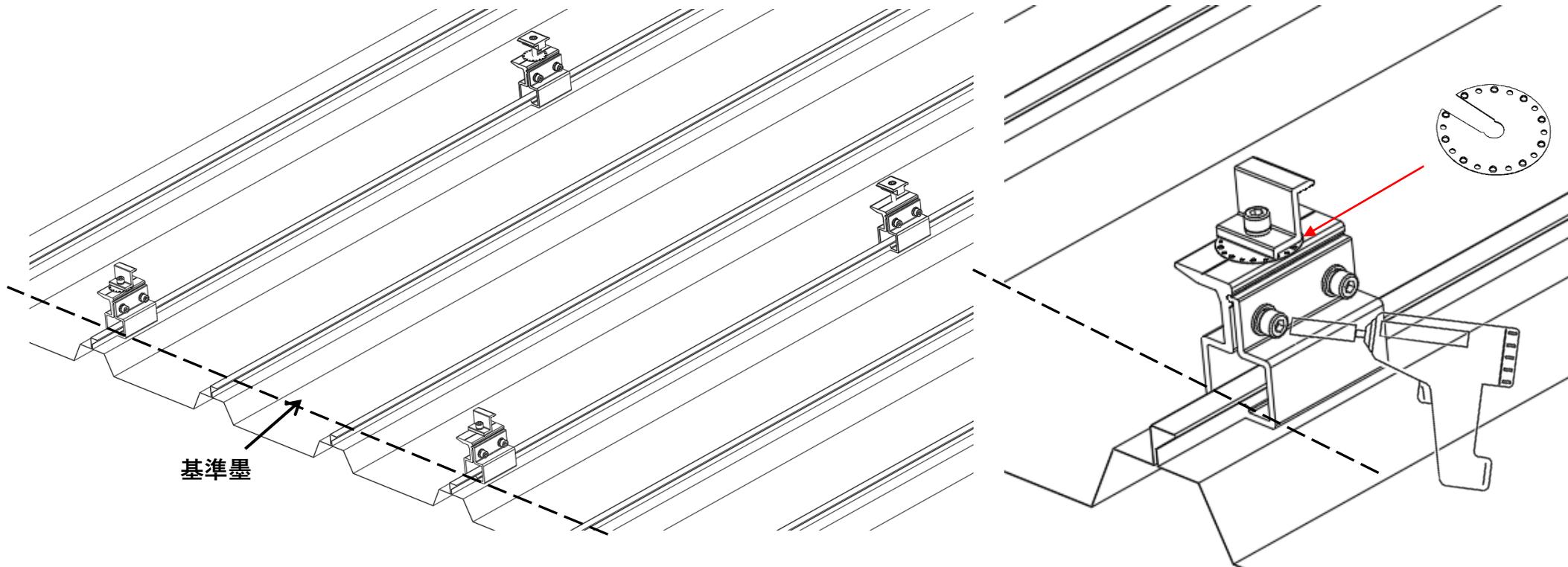


3/1

## 掴み金具の取り付け

(1) 掴み金具のボルトを緩めて、屋根施工位置に挟めます。

取り付けの時は88折半金具の端部を基準墨に同一直線にして、インパクトドライバーにタッピングビスを屋根に締め込みます。



4/1

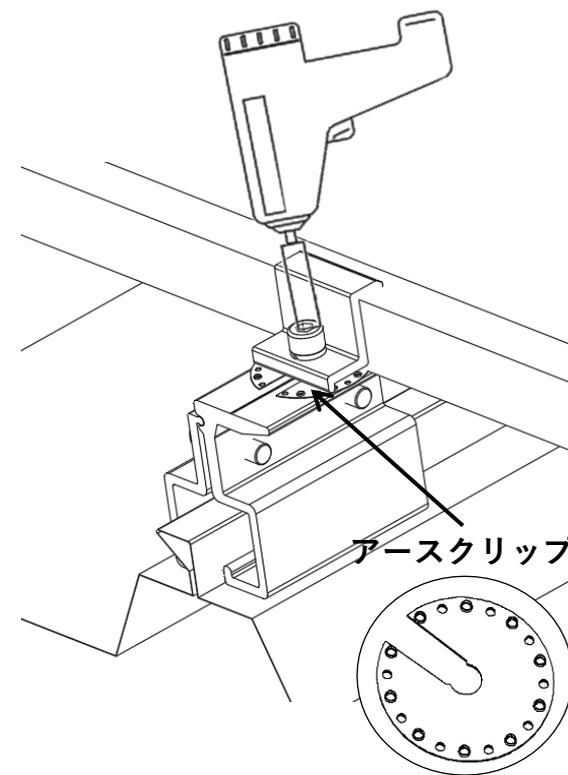
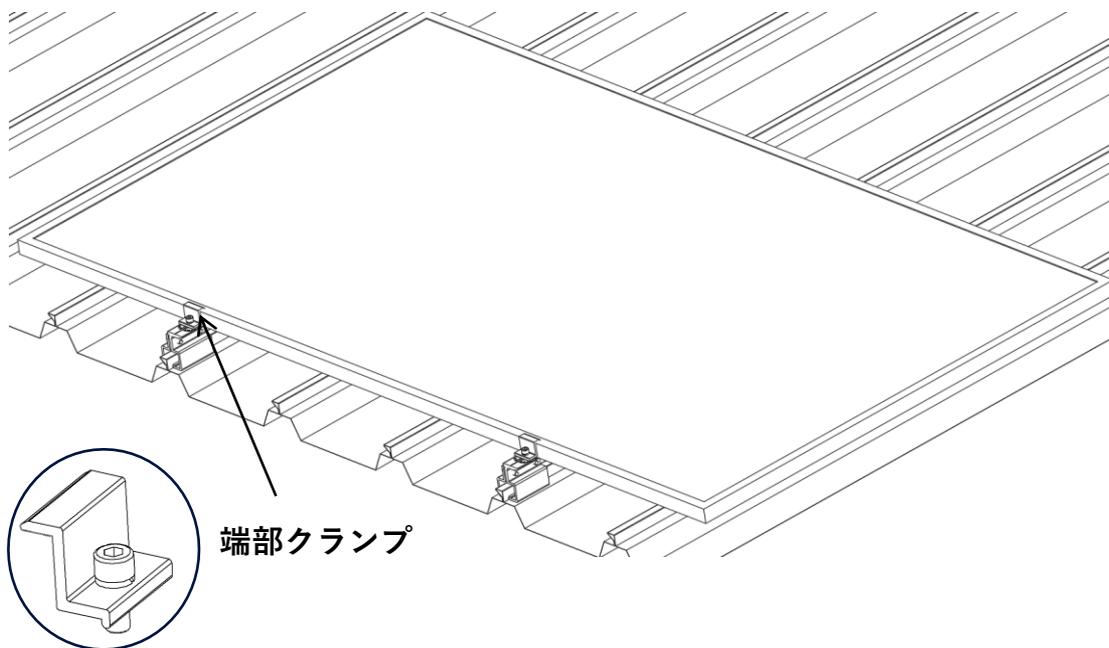
## モジュールの配置

### (1) 端部クランプの固定

モジュールを掴み金具に置きして（不陸にご注意）、端部クランプで固定します。

インパクトドライバーの取扱説明書を参考にM8ボルトの締付時間と締付力を守りナットの締め込みを行ってください。

**注** 推奨トルク15-20N・m, 過剰に締め込むと金具の変形、ネジの伸びや破損したりすることがあります。



4/2

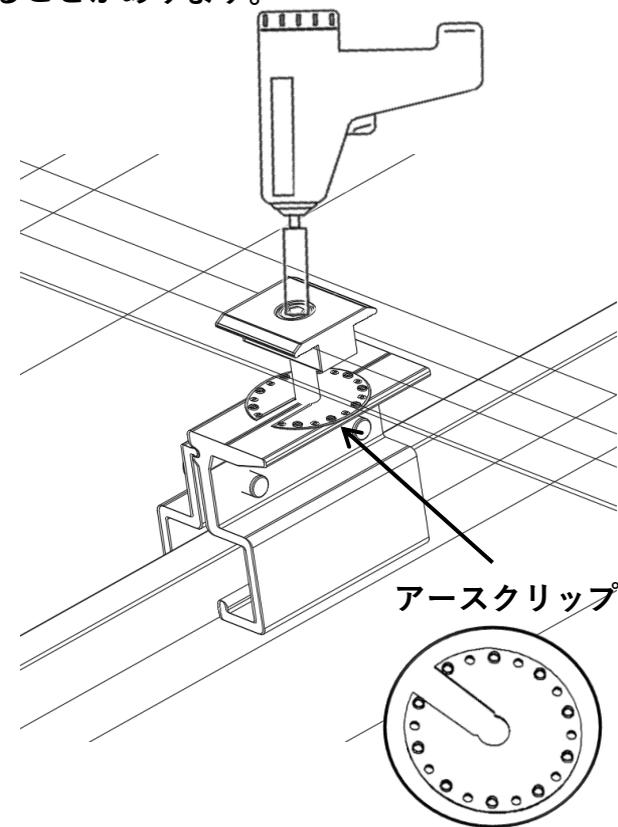
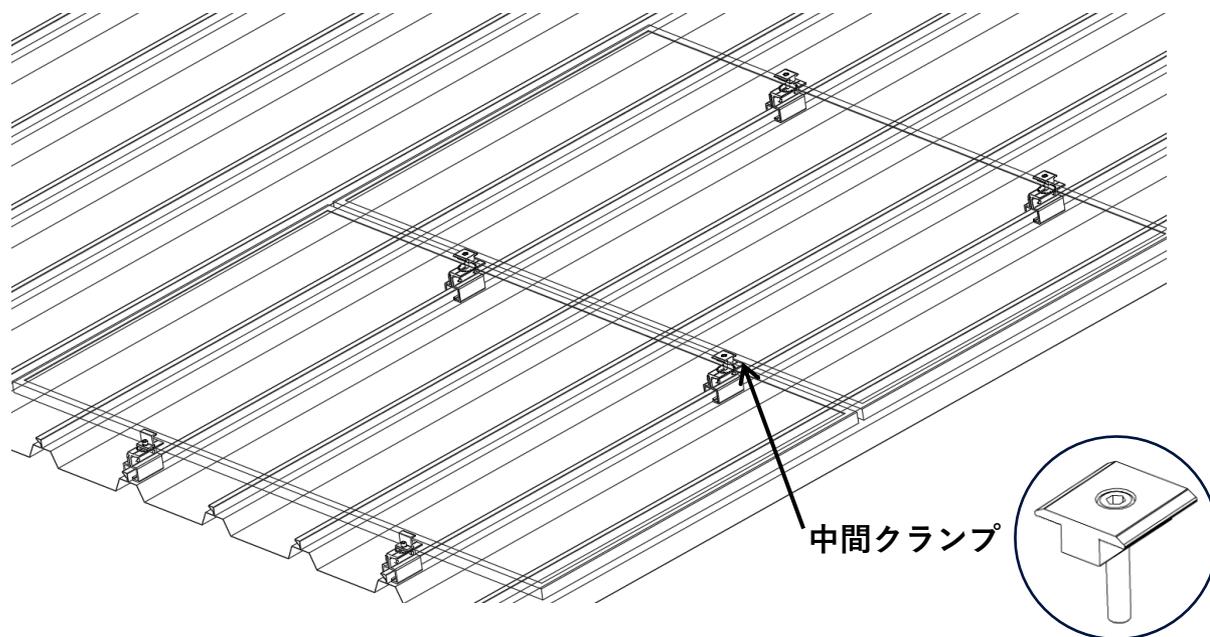
## モジュールの配置

### (2) 中間クランプの固定

モジュール同士は中間クランプで固定します。

インパクトドライバーの取扱説明書を参考にM8ボルトの締付時間と締付力を守りナットの締め込みを行ってください。

**注** 推奨トルク15-20N・m、過剰に締め込むと金具の変形、ネジの伸びや破損したりすることがあります。



4/3

## モジュールの配置

(3) 4/1-4/3の作業を繰り返す、モジュールを配置完了。

